

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（強度評価：原子炉圧力容器）

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/6/10	VI-3-3-1-1-1	原子炉圧力容器本体の強度計算書	2-3	原子炉圧力容器の胴板の評価について、内圧による半径方向の応力を板の内面と外面で同じとしている考え方を整理して説明すること。	一次一般膜応力は構造上の不連続性及び応力集中のない部分のものであり、評価断面の平均応力であることから胴板の内面と外面を含めた応力評価面として記載しております。 一次膜＋一次曲げ応力に関しては、最外周としての外面の応力で代表できることから、先行プラント等の実績を踏まえて内面と外面を含めた応力評価面として記載しております。	回答整理表にて回答	2021/9/16 回答済	
2	2021/6/10	VI-3-3-1-1-1	原子炉圧力容器本体の強度計算書	3-3	上部鏡板、鏡板フランジ及び胴板フランジの評価結果について、一次一般膜応力強さに比べて、一次膜＋一次曲げ応力強さの値が小さくなる理由を整理して説明すること。	一次一般膜応力は構造不連続の影響を排除した応力として算出しておりますが、一次膜＋一次曲げ応力に関しては形状を模擬して算出していることから、応力評価点近傍の構造によって剛性が大きくなり、一次膜＋一次曲げ応力の値が小さくなっております。	回答整理表にて回答	2021/9/16 回答済	
3	2021/9/16	VI-3-3-1-1-1	原子炉圧力容器本体の強度計算書	3-3	上部鏡板、鏡板フランジ及び胴板フランジの一次膜＋一次曲げ応力強さが一次一般膜応力強さより小さく算出されている理由について、先行プラントとの差異等を踏まえて説明すること。	先行プラント及び既工認における他プラントの評価において、各部の寸法や評価条件に差異があることから、発生する応力強さには差異があるものの、一次膜＋一次曲げ応力強さが一次一般膜応力強さより小さく算出される部位があるという傾向について同様であることを確認いたしました。	回答整理表にて回答	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所（強度評価：原子炉圧力容器）

No.	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-3-3-1-1-1	原子炉圧力容器本体の強度計算書	全般	形状・寸法・材料・応力評価点において評価部位の名称を追加しました。	2021/9/16	
2	VI-3-3-1-1-1	原子炉圧力容器本体の強度計算書	全般	形状・寸法・材料・応力評価点において評価部位の名称の記載方法を適正化しました。	2021/10/1	
3	VI-3-3-1-1-2-1-2	差圧検出・ほう酸水注入系配管 （ティーよりN11 ノズルまでの外 管）の応力計算書	2	ティー部と制御棒駆動機構ハウジングとの拘束状況を図示しました。	2021/10/1	